



日本骨髄バンクの現状（2019年3月末現在）

	2月	3月	現在数	累計数
ドナー登録者数	11,662	7,174	509,263	780,197
患者登録者数	207	214	2,139	56,171
移植例数	119	93	—	23,002

■3月年代別ドナー登録者数（現在数）

10代	4,788人
20代	76,817人
30代	138,633人
40代	218,330人
50代	70,695人

■3月の20歳未満の登録者 322人

■3月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／4,403人、献血併行型集団登録会／2,358人、集団登録会／36人、その他／377人

■3月末までの末梢血幹細胞移植（PBSCT）累計数：685件

■骨髄バンクを介して2回提供された方（累計数）：1,700件

■DLI（ドナーリンパ球輸注）療法の実施件数（累計数）：863件

■国際協力の現状（2019年1月～3月）

<海外ドナー⇒国内患者> 移植数：1件（台湾） 累計移植数：191件

<国内ドナー⇒海外患者> 提供数：3件（NMDP2※、香港1） 累計提供数：274件 ※NMDPへの提供2件のうち1件はPB注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 ドナー登録者の個人情報記載された書類を紛失した事案について

当法人でコーディネート中のドナーの個人情報等が記された書類を紛失した事案が発生しました。4月12日に厚生労働省記者クラブで記者会見して事案発生の経緯等を説明しました。ドナーの方および関係各位に深くお詫び申し上げます。引き続き個人情報取扱いの重要性の認識を徹底するとともに、業務体制の改善などの再発防止策を実施してまいります。

詳しくは当法人ホームページのプレスリリースをご参照ください。 ◇HOME > お知らせ

2 2018年度の移植数1,214件、ドナー登録者数49,151人

■移植数

2018年度の移植数は1,214件で、前年度（1,241件）より27件減少しました。内訳は〔国内ドナー⇒国内患者〕が1,206件、海外バンクを介した〔海外ドナー⇒国内患者〕が3件、〔国内ドナー⇒海外患者〕が5件でした。末梢血幹細胞移植は222件で、前年度に比べ40件増加しました。患者登録者数は前年度の2,754人より49人多い2,803人（国内2,212人、海外591人）でした。

■ドナー登録者数

ドナー登録者数は、2019年3月末現在509,263人となっており、2018年度の新規登録者数は49,151人で前年度比14,161人増（140%）となりました。登録窓口別の内訳は、①献血併行型登録会が25,439人（前年度比2,091人増）、②日赤固定窓口（献血ルーム等）が21,686人（前年度比11,074人増）、③集団登録会が576人（前年度比109人増）でした。

今後も一人でも多くの患者さんに移植の機会を提供できるよう、一層努力してまいります。

3 「日本医学会総会 2019 中部」でアイドルたちの絵本朗読会とミニコンサート開催

日本医学会総会 2019 中部の市民展示「健康未来 EXP02019」（ポートメッセなごや）において、3月30日、2度の骨髄移植を乗り越えた4歳の少女の実話をもとにした絵本『春ちゃんは元気です』の朗読会とミニコンサートを開催しました。名古屋を拠点に活動するアイドルグループ・BSJプロジェクトのメンバーが朗読を披露。続く「骨髄バンクを知ろう Q&A」でアイドルたちとバンク職員で問答を行いました。ミニコンサートではアイドルたちと歌手・あべ静江さんの明るい歌声が会場を包み込みました。参加された方は約100名。若い世代の力で骨髄バンク応援の和が広がっていくことが期待されます。



4 2019年度の事業計画と予算が承認

2019年度の事業計画と予算が第14回通常理事会（3月18日開催）で承認されました。事業計画では、若年層を対象としたドナー登録拡大や応諾率向上のための社会環境整備（企業・団体等への「ドナー休暇制度」導入の働きかけ）等を重点目標に掲げました。予算については、積立金の活用を踏まえて均衡を図ったものとしています。本年度も適切な執行に努めてまいります。

5 「ドナー休暇制度」導入企業、358企業・団体に

当法人では、働きながらドナーになる方の提供しやすい環境作りのため、全国の企業・団体等に向けて「ドナー休暇制度」の導入を推進しています。2019年4月1日現在、当法人で確認が取れているのは358企業・団体となります。当法人ホームページに一覧を公開しています。これからも「ドナー休暇制度」導入をいっそう推進してまいります。

◇HOME > 募金ご協力のお願い > 企業・団体による支援 > ドナー休暇制度導入企業
「ドナー休暇制度」に関するお問い合わせは、広報渉外部ドナー休暇制度導入担当まで
TEL 03-5280-8111

6 ドナー助成制度、新たに13市町で導入

新たに13市町で骨髄バンクを通じて骨髄又は末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度が導入されました。全国で454市区町村になります。また、青森県、長野県、愛知県が県内市町村を対象にドナー助成制度の予算補助をすることになりました。

助成制度の内容は各自治体によって異なりますので直接お問い合わせください。当法人ホームページにお問い合わせ一覧を掲載しています。

◇HOME > ドナー登録されている方へ > 骨髄・末梢血幹細胞の提供までの流れ > 提供ドナー助成制度を導入している地方自治体・民間団体

■新たに導入した自治体

○板柳町、○三沢市（以上青森県） ○柴田町（宮城県） ○館山市、浦安市（以上千葉県）
○茅ヶ崎市、横浜市（以上神奈川県） ○呉市（広島県）
○芦屋町、○遠賀町、○水巻町（以上福岡県） ○美里町（熊本県） ○宮崎市（宮崎県）

7 「BANK！BANK！」Vol.14 発行のお知らせ

骨髄バンク・さい帯血バンクを身近にするための造血幹細胞事業広報誌「BANK！BANK！（バンクバンク）」の最新号が4月に日本赤十字社より発行されました。今回のテーマは「母娘の絆ストーリー～さい帯血移植で白血病を乗り越えて～」。さい帯血移植を受けて白血病を克服した方とそのご家族が力を合わせて乗り越えた闘病経験を紹介しています。ぜひご覧ください。

<http://www.bmdc.jrc.or.jp/bankbank/index.html>

8 当法人の会議等開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください（非公開除く）。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	5月13日（月）18時～20時 廣瀬第2ビル地下会議室
通常理事会	公開・一部非公開	6月10日（月）18時～20時 廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

9 適合ドナーへのSMS導入トライアル（初期コーディネート）

現在、適合した30～40代の男性ドナーを対象に、適合通知の書類発送前に適合したことを電話でご案内し、住所変更の有無やコーディネート進行可否等を伺っています。

このたび、適合したドナー全員を対象として、電話に代わり新たにSMSを利用した対応（トライアル）を実施することにしました。これにより、さらなるコーディネート期間短縮を目指します。準備が整い次第トライアルを行い、本格稼働の可否を検討します。

10 確認検査、フォローアップ等関連帳票の変更について <調整医師・採取担当医師の方へ>

4月15日出力分より、下記の帳票が変更となります。別紙を確認のうえご対応をお願いします。

- ・ドナー確認検査報告書（問診・診察所見）
- ・骨髄採取関連
採取計画書、採取報告書（速報）、非血縁者間・採取報告書、採取後健康診断報告書
- ・末梢血幹細胞採取関連
採取計画書、G-CSF 投与報告書、採取報告書（速報）、非血縁者間・採取報告書、採取後健康診断報告書、末梢血幹細胞採取完了報告書（ハーベストレポート）
- ・DLI 採血計画書

11 検体保存事業で使用する資材の送付について

日本赤十字社では、平成30年4月付で本事業における実施計画書を改訂しました。検体採取施設の担当者の皆さまには、「非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞移植における検体保存事業実施計画書の変更について（依頼）」（平成30年3月20日血造管第19号の3）により、改訂した実施計画書での倫理審査承認を得るよう依頼しています。

平成30年度は多くの施設で倫理審査承認が得られるよう移植認定（「採取のみ」も含む）を受けた全施設に資材を送付していましたが、今年度より倫理審査承認を受け日本赤十字社に連絡のあった施設にのみ資材を送付します。すでに審査承認となり日本赤十字社に連絡していない場合は、速やかに日本赤十字社への連絡をお願いします。

12 【安全情報】末梢血幹細胞の一部がシャーベット状になっていた事例について（続報）

本年2月、標記事例について運搬者の日本通運株式会社（以下、日通）に対し、原因究明と再発防止策が示されるまで保冷運搬の中止を申し入れ、安全情報を発出した案件に関する続報です。日通より提示された原因ならびに再発防止策は医療委員会および業務執行会議において確認され、再発防止策を徹底することを前提に再開可能とされました。詳細は4月15日付安全情報をご確認ください。

**13 患者コーディネートの運用等に関する変更について <患者主治医の方へ>**

患者コーディネートにおける手続きを簡素化することでコーディネートの期間短縮を図るため、医療委員会での審議を経て、以下の項目を見直しました。詳細は当法人ホームページ掲載の添付資料（ダイジェスト版および詳細版）をご参照ください。

◇HOME > 医師の方へ > 医師宛通知文【患者主治医向け】

<項目>

- コーディネートルールや運用に関する事項
 1. 医師の役割分担とFAX書類等の送付先について
 2. 臍帯血等移植後の骨髄バンクドナーの確保について
 3. DLI申請について：「混合キメラ状態」の申請条件変更について
- コーディネートの書類に関する事項
 1. 各種書類への医師の署名（記名）について
 2. 「ドナー選定通知書」の変更について
 3. ドナーから放射線被ばくの申告があった場合の医師への連絡について
 4. 連絡事項の中止について
- 骨髄液等の運搬に関する事項
 1. 航空機に搭乗時の運搬BOX磁気回避の見直しについて
 2. 運搬証明書発行の要否問い合わせの中止について

<運用開始日> 2019年4月15日より

移行期間は使用書類の混在が予想されますが、状況に応じて対応します。

14 連絡事項**■ GW期間の確認検査・再検査実施とSRL予約について（再掲）**

<確認検査>

ドナーがすでにHLA（DNA）の情報を持っているか否かにより、対応が異なります。

- ① 一般血液検査およびHLAビーズ法の場合
4/26（金）、4/30（火）は実施可 5/1（水）、5/2（木）は実施不可
- ② 一般血液検査のみ・確認検査再検査
4/30（火）、5/1（水）、5/2（木）は実施可

<SRLの予約>

4/26（金）の予約は4/19（金）14：00まで

4/30（火）、5/1（水）、5/2（木）、5/7（火）の予約は4/23（火）14：00のハルフト送信まで

■ 改訂版チャンスの送付について

改訂版「チャンス」を同封します。

■ 2019年度コーディネーター研修について

コーディネーターの方には「2019年度コーディネーター研修について」を同封しますので、ご参照ください。

■ 各種データについて

今号では、マンスリーJMDPに毎号掲載している「コーディネート件数（月次実績）」のほか、「コーディネート件数（2018年度実績）」「コーディネート期間（2018年度実績）」「終了理由別終了件数（2018年度実績）」を同封します。